PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(43)Date of publication of application: 02.09.1998 (11)Publication number: 10-230971

B65D B65D 33/00

(51)Int.CI.

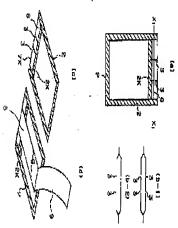
(22)Date of filing: (21)Application number : 09-049590 19.02.1997

(72)Inventor: (71)Applicant : DAINIPPON PRINTING CO LTD ASAKURA TAKASHI

(54) EASILY UNSEALABLE PACKAGING BAG

after it has been unsealed. contents can be easily taken out and which can be put on a base packaging bag which can be easily unsealed and from which the PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an easily unsealable (57)Abstract:

by the easily tearing treatment, of the nonadhesion part 6, or the adhesion of a part or the whole of the part except the zone peeled application on only one side of two films welded with heat, heatfine through holes or scores provided on the packaging material, more notches provided at the film end of the nonadhesion part 6, applied to ingrow from the film end of the nonadhesion part into the part 6 is formed from the end of at least one of heat-adhesion sides easily tearing film at least at one layer of the packaging materials heat-adhesion part. Some of this easily tearing treatment are two or to the heat- adhesion part 2. And an easily tearing treatment is SOLUTION: In this easily unsealable packaging bag, a nonadhesive



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 20.08.2002 10.07.2000

examiner's decision of rejection or application [Kind of final disposal of application other than the

converted registration

[Date of final disposal for application]

[Date of registration] [Patent number]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's

(19)田米國泰統5f (J P) (12) 公開特界公報(A) 特開平10-230971 (11)特殊出職公開海事

(43) 公開日 平成10年(1988) 9月2日

(51) Int.CL. B 6 5 D 77/30 鐵明哲事 B655 ĭ 77/90 33/00 იი

暗色語味 未請求 組ま残の表の FD (会 8 四)

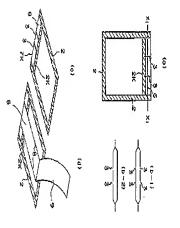
(22) 出版日 (21)組織維申 平成9年(1997)2月19日 **特数平9-49590**

(72)発明者 行り出版人 (74) 代班人 好強力 小面 海集 000002897 改年 網 東京都衛福区市谷加賀町一丁目 1 母 1 号 光大日本四周家民创名内 阿莱那省中西斯斯斯阿斯尔3-5-1 東 大日本印刷株式食缸

(54) 【発剤の名除】 高國物色的鐵器

心感開封包操器を結供する。 【課題】 題封が、谷易で、包添銭から内容物を取り出っぽくし、題封後の包集数や、白上毎におくことのたま (修用者)

園が成階深レイライためのこのか切む。 國際住処理により制織する解唆を除いた部分の一選求だは全民を整備者したにも、問題包派行称の少なくもも一 2箇所のノッチであること、前記場製性処理が、前記包装付終に設けた砂値な質適引または簡重によるなされる ものであること、同記の政体処理が数限者するの数のフ 選が、同記手扱治部のフィラス組織が設けた少なへみも 製住処理を施した易期封住包接換であり、商記易製能処 ※治型のフィルス構造がら数原指導の一部に使い込む感 5熱励者部2にいたる部分に非接着即6を形成し、該非 イナムの子側のの多の類はななには、前記学療権型の、 【解決手段】 熱味者する辺の少なくこも一辺の痛部が



一種の一体を

「報告結束の毎囲」 「語味頭」」 単層フェル人または療験の無対からなる信仰リメートと等の色素対象を作り過少、または2枚のフェルスを重ねた開放辺を開発に表験着することによりメルスを重ねた自然数であった。可記域影響する辺の少なくよって、辺の強調がかる機能部のにいたの部分に非常報告を形成し、成件接着部のフィルス組織からた機能力の一部

に食い込む易裂性処理を超した易悶對性包感級。 【請求項2】 前記易裂性処理が、前記持接者部のフィル人機器に扱いた少なくとも2箇所のノッチであるにと

ď

在特徵在安布語水項 1 記載の象膜對性包織物。

「語素水類 3 記載の感謝對性包練袋。 「語水類5) 節記対影音節の、感愛性処理により線響する循環を除いた形分の一部または免疫を接触着したごする循環を除いた形分の一部または見ばや開射性色感にそれ歌とする語水項1万五額水項4記載の開射性包織に

20

(請求項6) 即記包感行移の少なくとも一層が展製体 フィルムであり、即記の製性処理が、即記の製性フィル ムの製け易い方向と同一方向に処理するにとな物製と も時求項1万至請求項5記載の易騰対性包装さ

【発明の詳細な影明】

【0001】 【時野の属する技術分野】製融者により密封される自執 独の原理対象に関する。

ğ

数4. 1のノッチ指字の数や51年繋へによらより、壁口指5、今形成する。11の場合整膜指導2、が完全シート 強つにつまるたらがある。また、トワー入りの内容部を めったり、辞儀条形葬やグッキー集割れ殴いものである **作つれ、限り出を内容的が表頭形の別題なつ思いものれ** 字はわち、彼の画語から内容物を限り出す必要がある。 ッチから、鏡を引き裂き、形成される開口部5′から、 題封近の組織パノッチ(図ではVノッチ)ノッチ3、 を 来技術によるピロータイプの袋とその開鮮の説明図である。例えば、図8の(a)(b)(c)のような平袋の 種密封平線と、その線に殴けたノッチを示し、図9は能 半等を設ける方法であった。図8は、従来技能による名 国鉄形織といれ原用されたいる方法は、彼の範疇にノッ 出来るだけこれら用具を用いずに関封できる砲封鎖が望 た消費者が、簡記密封袋を開封する場合、鉄、包丁、ナイブ等の用具を使用して開封できる場合のみではない。 果なれなり、早で配信できる色質様もつた多くの指品の 【従来の技術】舷封された数に充填された簡品を購入し [0002] 木の核原治的が治療に関係しないため、一分所のノ 然を引き致くるまに、前記内容的が実形したら、破

\$

待閒平10-230971

Ø

時心回じためる。 による影響性処理に代わり、関数すくき辺の編輯全数に 頭口部5 全形成する場合もあるが、両記甲銭と同じ、内 □思なの飲を引を強へいるみ、信記ノッチによる医性の 易製性処理をする技術も公開されているが、一か所の際 物物が数の重要がの限り出を必要がある。問題のノッル は下シール部に吸けたノッチから包装的料を引き吸って 当ら自律シース部との技能部との指分を影響して、図の チップス等をいれる線として一般的に用いられている大きなビロータイプの線の開封は、線の上またはドシール る方法である。例えば、図9 (a) に示すようなポテト た、最も組織な開始方法としては、腸ジードの発展によ いという問題があった。別の易開封性包装袋の何とし の結めは内につれてしまる出ささばなった、使り出っ葉 の場合では、開封した鉄や白上に購入れ、内容的が適合 のよろに、ノッチによる関型においては、内容的が液体 だかる際のは、隔角の引き吹き下グトワーの引し並か (c) に示すような関口部5を形成する。また、上また たつまらの方が金融話も国際の他の発躍の参うがえる り、スペーズに開始できないこれが多かった。又、前記 **物封したはか、御記と同じノッチから様を引き蹴らた要** さらに、親内に演数の内容を今長期した場合・確か 数の翌日館を上にってはびる人もを集める限である

【〇〇〇〇3】 【発野が解決しようとする課題】未発明は、終上のような問題に組み、自然後の開封において、必要に開封でおれ、問題包装数から内容物を取り出し無くし、また、開設の登録を、 就続の包装数を、 就続内に収納した液体をにはずじるなく、 台上等にはくことのできる場別封白機線を提供する。

であり、次の当時間、すなわち、前記馬製を処理が、前記非接着部のフィルも鑑賞に設けた少なくとも2箇所の からなる領層フィルム等の包装材料を祈り呈み、または ルムの製け易い方向と同一方向に処理することを含む。 **発フィルムであり、南記感験発処道が、南記感験種フィ** 選により別様する領域を除いた部分の一部または全数を 片側にのみに施されたこと、前記非接着部の、易裂性処 設けた価値な無道引または傷痕によるなされるものであ ノッチためのこの、前記感激な処理が、商記包袱的科の 部の一部に食い込む易製性処理を施した場間封性包装袋 接着即を形成し、該非接着朝のフィルム錯謝から熱願者 の少なくよう一辺の錯錯から核原推理だったる部のに非 松原指いたこと、前記包装計料の少なへとも一覧が感覚 あれる、前記房製性処理が燃配者する2枚のフィルムの **そだより物がされる包袱扱であった。 海記を原治する辺** 2枚のフィルムを何むた院後辺を感覚部に核原治するこ 【蹂躪を顧決する季段】単層フィルムまたは複数の素材 [0005] [0004]

【昭明の真筋の形態】本語明は、密封された包装板の期

S

報令非崇者報のフィルへの再側に認めた例(b - 1)、 中華のからに独立な好(d) を示す。 金剛 (c) と別 4 大線 (d) を示す。 金剛 (d) を示す。 金剛 (d) を示す。 金剛 (d) を明まな。 金剛 (d) を示す。 金剛 (d) を明まな。 金剛 (d) と 10 3 は、本線 明の 10 年級 (d) を明まな。 金剛 (d) を明まな。 金剛 (d) を明まな。 一、 10 4 は、本場 明の (d) を明まな。 (d) と 10 年級 (d) を明まな。 (d) と 10 年級 (d) を明まな。 (d) と 10 年級 (d) を 10 年級 (d) と 10 年級

半面図である。 「〇〇〇〇 井田明の周囲計像白緑線戸は、由衛の参々「〇〇〇〇」本の四の周囲計像白緑線戸に、3 ガシー インに通用できる。具体的には2 ガシーチ、3 ガシー ル、図ガシーチあるいはは線が形を近にさせて1回巻を終題申した成形球を向凸で平球、4 の他にロー球、ガキット球

1)。國7(J. 東海陽台JOYLE校園10四個對大學的作中

Ņ

部分が存在するだけで、前記早級と同様に表表明の思題好性包括級とすることができる。なお、図4(D-2) さる。ずなわち、悠米技術だよるノッチ3、により開始して形成される関口部2、少、包装数字、の側面であったのだがし、本場時による関口部2は包装数字の表面またのだがし、本場時による関口部2は包装数字の表面ま 過度した引擎線94つた、包線材料 1 や51名数へなるによった、色線線Pの楽画で第三番5 名形成をみなべかがで 非接着線のの上下の包線技能 1 や同手の指でしまべた、野野がイン部2 Kを慰謝で、さられ、ノッチ3の光線の 数けた質数(以下、像質及4~問数をも)を簡をこれた 対シール部2×に食い込む面荷(いろゝに阻落された面 に、図3(a)(b)に示すように非該者部のおよび闘 おする部分の熱勝着部2×(以下、開封ツール部と記載する。今の気影強はとし、少し、彼の熱野と題封ジール部2×4の間の非後着部のを設け、さらに、両記編的でも 乃伏つだよめだ、様の楽園於ノッキ3巻絮つたやよい 4(a)坊よび(b)に戻すまるに、伯働シー子等12 て形成された雰囲封性包装袋Pを開封する場合は、商記 より馬勁封往包鉄袋Pよぎるものである。このよろにし 権)の包拠技能1に接触な重通孔10または像長11を 処理(以下、ノッチと記載する)、または、前記と同様 **節記開館シール即2 Kの食い込むノッチ3 による影繁盤** 掛かめる。 たは俄国っなる。また、コロータイプの彼の罪名は、図 【0007】本発明においては、残えば、図1代示すように包織はPを形成する教験者部2の内、少なくよも贈

\$

徐昭平10-23097

必要でする影点には、少なくりも別型ジーニ第のよる場合著名の参加的も選信を含いていました形成をないて必要が出るのが生じる場合を含いていました形成をないて必要がある。 線性致毒剤を饱熱溶解して塗布してもよい。同配變年は、各種ロールはード、グルロアコード等により緩布を 必要部分(終謝着部)に塗布することによって易開結性 好ましい。 前記表示職性の接着剤とは、熱融者による接 めのかがたまる。 自然が与みをひんなができる。 さらに、 疾疫処理の疑問 のはる液であって、 該液を包維材料の内面の全面または 昔を回館にする成分を包箔した路波、 エトルジョン等が 抵抗がある)ケースがあるが、より難い力による影話を なるタイプの包装材料は、影解館が重い(影解する時の イルム化し、または、毎出ラミネート法により債職して 復、内容質、本語明における影響する部分の市場によった適当設在するによができる。また、房間議会技能をと の範囲が存まして、前記別部時の抵抗値は、内容物の指 ル部2 Kの易調館性(現職隊の抵抗菌)としては、栽開 封ソール部2 Kの99、巣艦試験で、 300~1200d/15mmfp 離面、剥離技法を指定しない。 本発明における関封シー 親の技法により異なるが、本発明においては特にその別 **抵汚は、箱2の方紙がある。燃えば、蒸頭箱国の雰囲影** の番間刺繍等の方法が知られている。 前記刺繍面は彫刻 易制能性を示す物であればよい。核融着部2の威別組役 ントレィル411回回土を慰願着して. 該旅願着邸2が ソールソマレィラスのの構態収益、米華狙レィラス

ä

【りの16】外部男の自義などを推成する自義対数1には、必要に成じた、伊計層24を指揮することもできる。人の中間層24は、包装付益の強反の向上、内容的の問題保持のための防衛性、ガスメリア発等の向上あるの問題保持のための防衛性、ガスメリア発等の向上あるいは、過光候等のために前記的記載付よりーラント層と

g

 \mathfrak{E}

の統治順、強化刀斗シアンの御佐属罪や認さなもの係め **ラミニウス俳の金質、製化強素、製化アラミ俳の製化物** 項目または類角フィルスおよびこれものフィルムに、ア いる結婚といては、たとえば、アルミニウム値や、ポリ 顎刀 4 4 共産合体のけん化物、ポリエステル、ナイロ ガイガをプローチ、兵コ顛右ガリコぞソ、メチワソー群 の間に微層することができる。同記中間層24さして用 **共コパキワソ、兵コがロガフソ罪の施盟からなめ米**

[0011] 所記、基材20とシーラント層21. 基材20と中国層24また中間層24とジーラント層21とのラミネートは、接着発売間22による特出ラミネート ミネート技術だより指面することができる。 紙、果たは、共リウフタン米振指達323元よめドウムシ

ä

思いることがたまる。

は、その指揮が転換シーを第2×6減か込んが状態にか 対数の2個所に、このまつへは「ノッチを数する。もつ 非接着部の上下の包装材料または、いずれか一方の包装 けらずることがたまる。戦型的なノッチ形状には、後状 かけを与えることができるならば、種々の方法を用いる 母は隅口当を形成するためだは、歯配ノッチ3の或さ た、種を研究の結果、雰囲動性をより容易に、かし、 た、影響領地間のファイッチのを設ける場合のは、彼の の1ノッチ、谷状のVノッチ染がある。冷発明におい と呼ばれる切り込みを認けることによって開始のきっか こうがつきる。具体的には、フィラスの細菌にノッチ3 【① 〇 1 2 】本発明における劉製住処理は、開封のきっ 20

るころが効果的であることを知見した。

쎵

ので、闘封の際には、消費者は闘封郎の命を自由に設定 になることが判別した。また、この原製発色温点、それを治した過媒生展に減っておいて5I製金属人なったいないで5I製金属人なったいる 示すように、包装材料表方は包装材料を排成する前のフ みれいりがられる。 い込む程度に態度減るを値をことにより、刺繍性が容易 においても、 房製館処理の面積は図3(a)に示すよう ①などに記載された方法を用いることができる。本発明 とするもので、具体的には、例えば特闘平3ー2793 孔10または微値な像板11を設けることにより影製性 る部分の結論に設治な保証は4による感染会処理を指し メルスの、銀の開始部分となるべき循項に、機能な更適 たもよい。前記像模数4は、図3(a)および(タ)に 【①013】また、両記ノッチ方式の他に、娘の開始す 非核音部のおよび放射接着部に接する熱融管部に負

\$

することができる。 こそだまり、関封がより特钦になって、大きな同口部と 94側の非接着部を感感着して、感感描述13を形成する 融着することにより、闘封性がより容易になる。例え により原願する即位を除いた部分の一部または全域を終 は、図5(c)に示すよろに、2ヵ所に抜けたノッチの [00]4]本発明において、非核智郎の、易数性処理 S

【①①15】さらに、題口即名、成例の思想中の景象、

徐麗阜10-23097

状が形成される。 口の形式やハーレゼットつんなひば、より編成な居口房 こうがたまる。また、ワーサー加工でより創まつら開館 行な方向往を進をあひょれる、 域4による易製性処理により、包装材料を製く方向に平 ラス物質脳があれるこれであ、 編編技学行器□解物館の あるこうが知用できた。をなわる、ノッチのまたは縁後 **に方向気を治かめレィラスを低回かめいるが、必要的た** 完全に平行に形成させるために、包銭材料の構成のなか 具体的には1輪延伸フィ

慰察し、しんされ、2箇所のノッチ3の温味もした引撃、戦のが形成され、白根村終め51を繋がれる。その治療、 ッチ3の引擎は方向と同一の方向性を資するフィルへ(例えば一軸延伸フィルム)が積層してある場合には、 通り、包燃袋P数に使用している包装材料1に、前記ノ **作つご配口書5を形成するものである。この際、配道の** た引っ張ることにより、隔封シール部2 4の核膜猶割を 鉛のの非影権部のを指力しまる、ノッチ氏の場合では、 2ヵ所のノッチ3間の非接着部6 を綴Fの外側に反義し 【①①16】本院明の陽陽封佐恒線線Pの闘約は、闘約

16部を形成(指で簡単に裂け目をしける)し、前記2ヵ 9, もした、然間指揮各型織つら頭は第名形成をあれるなど 所の引擎認知部の間の非族治路のフィネスを同手の指う の短線技術の指導の希望する任法の位置2ヶ所に引続期 を設けて易製性処理を施した場合の隔封は、非核治部6 選哲ツーラ銀の K 何い込んだ国籍の国後哲学の形態表も る。また、前記の非接着部のおよび設非接着部に接する 取り去ったあとには広い開封部5が形成されるのであ 包練袋Pの反対側また排状で繋げている、影腦對片8を 51を殴さされる開始月8は、昭昭的の阿明の自のませ、

いて説明する。 が容易であり、特に作れが溢れやかいものや、顕信を引 から取り出す従来の間針方法に比べ、内容物の取り出し に開口部5を形成し得るので、包装数を台上などに置い に、実施的なよび比較例によりさらに具体的な方法にし **ひ場合などの取り出しが極めてスペーズとなった。以下** て、然の上から内容的を取り出せる。そのため、数の描 り、坂の側面ではなく、坂の表面(又は裏面でもよい) 【①①17】本発明による包織線Pの開封は、前途の道

彼った疾患者当501ノッチが2mm食い込んでいる。 部下10mmの位限に19mm的の熱感者を実施し、密着した。 m、厚さ18mmの超頭を入れた後、ノッチを入れた非接着 類所の「ノッチ国際は50mmでなる。この彼に直径的80m 位置川道界に12mmの深るの『ノッチや入れた。符ったII で貼り合わせた包材を聞い、外寸130mm ×180mm フリダアート(ED) レュラスも厚さ30mmのメージーのーデンドウントや参着剤を用いたドウメリスネーフョン 入れるための外寸130mm 側の非紫描期の回編から40mmの ラ中10kmの四方ツーラ彼を存成した。この彼の内容を含め 【①①18】 (無極的1) 厚さ12mmのポコエチワンタ

(0019) (美術館2) 実施的1で用いたものと同一の四級材料を用い、同一外寸の四角ケール接触を存成した。との数の内容物を入れるための外寸130mm 側の身接 10 年間の分向する 四級材料の片側にのみ、回鍵から40mmの位置三個所に11mmの障害の「/ッチを入れた。位って二 四所の/ッキ門構成は50mmとなる。この底に直径的80mm、厚さ的12mmの破断を入れた後、/ッチを入れた非接着的下10mmの直径に10mmの必要者を表現した。他って共働時者が12mmの直径に10mmの数数者を表面した対した。他って執酬者都に/ッチが2mm 真い込んでいる。 [図5

(a) および(a - 1)]
(周封の状況)、ペールが右刺さてもるため、二階所のノラリの対所を指揮を右手の指でつまみ、対向する側の包装件を到地を方手の指でつまみ、関対テストを行った結果、包集特別は大心で右手で与った結果、包集特別は大心で右手で与った。ここで引き到がされ、少つ容易に開封することができた。ここで引き到がすたものできた場と考えても、必ず左手側の包集料料が明りを対応された。

20

(開封の状況)、ペルが右刺きであるため、二箇所のソッ年間の状況)、ペルルが右刺きであるため、二箇所のソッ年間の非常音郎を右手の指でつまみ、対向する前の回数は対数の背シール部を左手の指でつまみ、取封テストを行った必長、四級対対は必ず古手で持った側が引き到めては、かつな動外に関封することができた。特征利、2 24よび 3に割給作業を行うことができた。 疾縮利 1、2 24よび 3における脚門による脚門部の多数は、回7(a) (b) (c) た示すような形状となることがある。

\$

[0021] [実施例を]実施例をご用いたものと同一の数と代容物を用い、同 [/ ッチの3m 外側に数/ッチャンド代に包旋杆料維維がら過シールと交差するシール部まで10mmがの数熱毒や系統したものを作成した。 [図5 (c) および (c-1)]

g

徐鵬平10−23097

ッ 年間の野球管部を音手の指でしまる。 気向する側の包 紙料料の青シー 小部を左手の指でしまる。 見刻テストを 行った結果。 包装計判は近ず音手で持った。即刻シスト され、かつ引き到がされた。第分が製配者によって一件 作されたなか。 実施的 より 同に変形に知るるに、少 作されたなか。 実施の はり 同に変形に対するに、少 できた。 また、特に図画等で説明はじないが、ノッチ場 を表別者 する場合は、表記書紙に負い込まない返り、イッチ場

「○○22」(美権の名)属さ301mの過程をポップロアン(〇アウン・オル、具体的には二柱に手供式会社製「アワス」と属さ301mのイージーワーシャーラント表権者総を用いて、ドウイラミネージョンで貼り合む本な包括対すを用い、実施図3と同一〇テスト(ピロ・共一個メッチ)を実施した。この際、ノッチを入れた手で報。工画ノッチ)を実施であるに表現がデガ何と、「PB3下の都裁少の包括性する日を見がデガ何と、「PB3下の都裁少の包括社市か一致するように製扱した。(図5~1)の表述とカー1))

(四封の大河) 居当タストを実施した結果、参東施紹で行成に入場に入り下フェル人の影響性性を指表って、単二 真に 属れて属れた原計性を示し、図7(4)に示すように開起またをおいな非実にすることができた。また、ここで 田した〇 ア アフェル は馬製館 〇 F アフェルムは多雄市 医されてもり、また〇 F アコ・ルムの多ならず、他の未りプロに、ソフェルム、キュエリンコ・ルム、キュニンフェルム、キュニンフェルム、モロンソフェルム、キュニンフェルム、キュニンフェルム、キュニースリールへ、キロニンフェルムを存っ、過製館すなわら日を設まれる方面接の指来が得られる。

【0023】(実施別6)実施別5と同一の包続料料を明い、同一外中の戦争をして、「ノッチの回路を整築をいた。「スッチの回路を整築者のた。(図5 (c) および(c-1))

30

(開封の状況) 開封テストを実施した結果、本実施的で作成したははのPPフィルムの場裂性体と指まって、非存成のなれたの類対性を示し、開封部を含わいな帯状にするによができた。

【○○24】【比較解は】層さ211mのボリスギレンデレンダレート(空) フェル人を薄さ911mのイージーについたリートを接着剤を用いてドライラミネージョンでもおされるはないで、メーサ15cm といいしたいのに国チンール35cm (別の手に乗りと)といいのの国チン・一段を行成した。この袋の人質物あり、大さるための外寸13cm 側の手球着側の両線から40mの位置三個所に3mm の確認の「ノッチを入れた。位って三個所のツッチ間隔は55mmを入る。この袋に直接30mm、原図アン・チを入れた承接着45cm。まか15mmの短調を入れた後、フッチを入れた未接着45cm。対象の15mmの短調を入れた後、フッチを入れた未接着45cm。対象の15mmの短調を入れた後、イッチを入れた未接着45cm。対象の15mmの短調を入れた後、15mmの位置に10mm付の対験者を表演し、超対した。

(開封の状況) 斑岩球、未教者部の二箇所のノッチ間の 田針を左右別々に左右の手の指でつまぶ、接着節を引き 別がした。その結果、黎汶其八中できれいに勝封することができた。しかし、この場合両右の手にお等に力が居

かるため、成功することは稀で、四手で引き別がす際にたちかの手の指で別がした方の包料が別がれるのか、 たちらかの手の指で別がした方の包料が別がれるのか、 また引き別が、同解は毎のノンテからの引き別がし方向が 不安定なため、開鮮のきっかけがなかなかできなかっ

で。
「〇〇25」【比較例2】比較例1と同じ材料及び製袋(〇〇25】【比較例2】比較例1と同じ材料及び製袋条件として、同一の饅頭を入れた後、ノッチを一か所の分として、ノッチを入れた米排料がフ下5mmの位面に10mm中の機能増を表徴し、必割した。(図6(8)】 (関封の状況) 常製いた包括によま10(関封の状況) 開封時に億頭の維が引き製いた包括によま10

徐閎平10-230971

9

そって割り取られてしまった。また、酸弱が飼り取られないように注集して開始するよ、途中から引き製造方面が はあれてなり、引き製き関治艦の反対側の繊維に到達する 割めになり、引き製き関治艦の反対側の繊維に到達する 間に因わが約れてしまり、中原を取り出すことができなくなってしまった。

【○○26】末途野比較同のテスト結果を表一1次示す。表中の場所対象とは、別がするっかりの得られるす。大中の場所対象とは、別がするっかりの得るようなかの代表と、対向する日本は対象がつから高端性学を発生したものである。 思考、 題封端の内容物の環境性学を発生したものである。

る。 評価は×. △、○、◎の相対評価さった。

数数約1
C 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
S 1000KB
9 14459(18

銀げた皮(ロー1)、 健康が思さた座(ロー2) 強や非核損害のフィルスの隔層に繋げた弱(サー1)、 別や示す平面図(a)、X. -X、原面図で、易製住処 の縁の取り狙しの殴に、内容勢を破さず、威形さゆず状た縁さないた取り狙ぎにもがたまるよろになった取り狙ぎにもがたまるよろになった。 振跋を密房に開封可能となり、収納された内容物よう ヶ斑面図で2両の場合(a)及び5両の場合(b) 予運のゆう数30分を8(D - 2)、包装数の未配数次級 た、茶れかかいもの、蝶のがららのの、斑疹皮みが蛆むの 【図2】本発明の易開封性包装袋の包装材料の構成を示 【図4】 後端男のアロー被心の疾病側や圧が手画図 (a) 4 影製性処理部分の包装材料の層面図で質過欠を 【図3】図3は、水発明の別の弱裂性処理を示す平面図 (c) 占題的状態(a) や示が認能図. 【図1】図1は、水発明による易間封住包装挟の一実施 【図面の部単な説明】 【殆明の効果】本発明の展開射性包装扱により、密封包 8

(a)、X, -X, 雲原面図(b-1)、X, -X,

콵

Ş

00

引教演

10/5/2006

